

沖縄県の感染状況等について



沖縄県保健医療部

令和5年7月7日

(1) 沖縄県の感染状況等について

① 県内及び全国の定点当たりの患者報告数

	疫学週	第20週 5/15～5/21	第21週 5/22～5/28	第22週 5/29～6/4	第23週 6/5～6/11	第24週 6/12～6/18	第25週 6/19～6/25	第26週 6/26～7/2	参考 2022年第31週
県	定点報告数	583	559	853	994	1,552	2,132	2,613	4,856
	定点当たり	10.80	10.35	15.80	18.41	28.74	39.48	48.39	89.93
	総数(推計値)	2,740	2,620	4,000	4,660	7,280	10,000	12,260	—
全国	定点報告数	17,489	17,864	22,432	25,163	27,614	30,255	集計中	—
	定点当たり	3.55	3.63	4.55	5.11	5.6	6.13	集計中	—

注1) 総数(推計値)は、県全体の一週間での推計感染者数で、22年40週から23年18週までの定点報告割合の逆数(1/0.213)を週ごとの定点報告数に乗じて求めている。

注2) 定点医療機関；54ヵ所（小児科31、内科23）

注3) 「参考」の欄には週別で沖縄県の新規陽性者数が最も多かった22年31週(8/1～8/7)の各計数を記載。

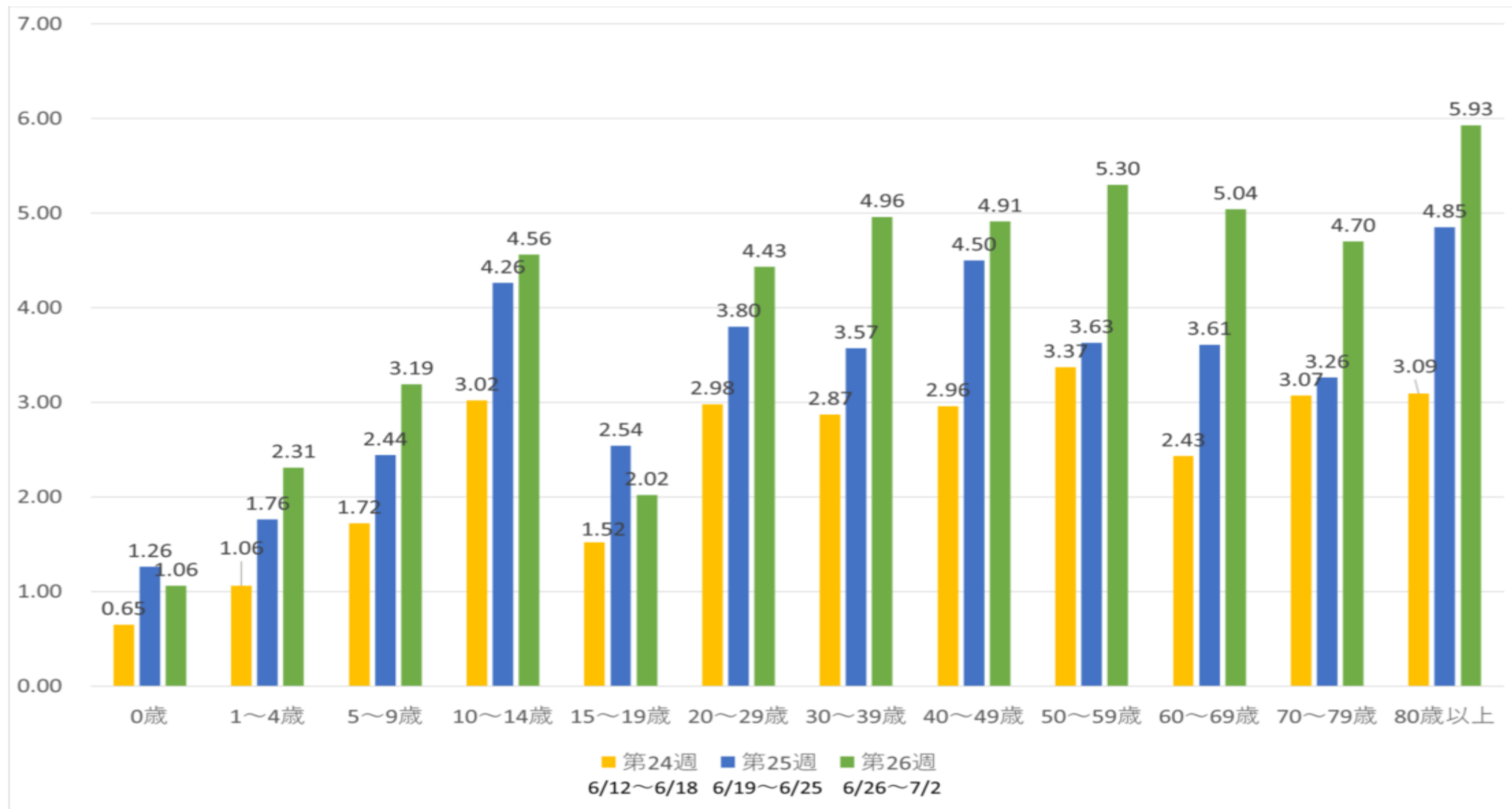
(1) 沖縄県の感染状況等について

②保健所別定点報告数(定点当たり)

	第20週 5/15～5/21	第21週 5/22～5/28	第22週 5/29～6/4	第23週 6/5～6/11	第24週 6/12～6/18	第25週 6/19～6/25	第26週 6/26～7/2	参考 2022年第31週
北部	24 (4.80)	48 (9.60)	64 (12.80)	49 (9.80)	89 (17.80)	161 (32.20)	134 (26.80)	184 (36.80)
中部	183 (11.44)	138 (8.63)	250 (15.63)	288 (18.00)	378 (23.63)	592 (37.00)	674 (42.13)	1,206 (75.38)
南部	199 (14.21)	193 (13.79)	268 (19.14)	366 (26.14)	571 (40.79)	711 (50.79)	849 (60.64)	1,110 (79.29)
那覇市	92 (7.67)	85 (7.08)	171 (14.25)	208 (17.33)	358 (29.83)	450 (37.50)	610 (50.83)	2,114 (176.17)
宮古	67 (16.75)	58 (14.50)	70 (17.50)	44 (11.00)	61 (15.25)	102 (25.50)	182 (45.50)	173 (43.25)
八重山	18 (6.00)	37 (12.33)	30 (10.00)	39 (13.00)	95 (31.67)	116 (38.67)	164 (54.67)	69 (23.00)
合計	583 (10.80)	559 (10.35)	853 (15.80)	994 (18.41)	1,552 (28.74)	2,132 (39.48)	2,613 (48.39)	4,856 (89.93)

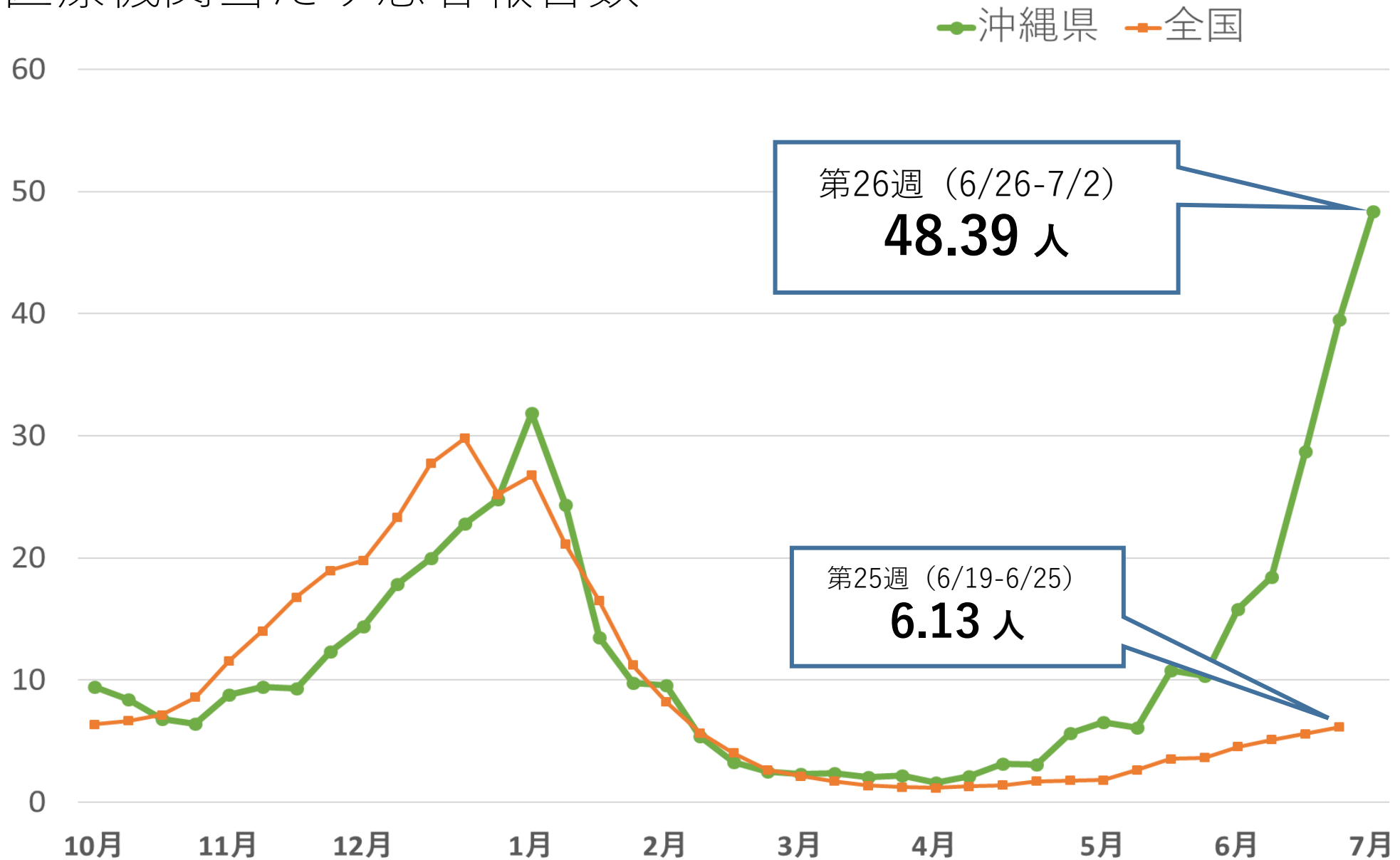
(1) 沖縄県の感染状況等について

③年齢階級別定点当たり患者報告数の推移



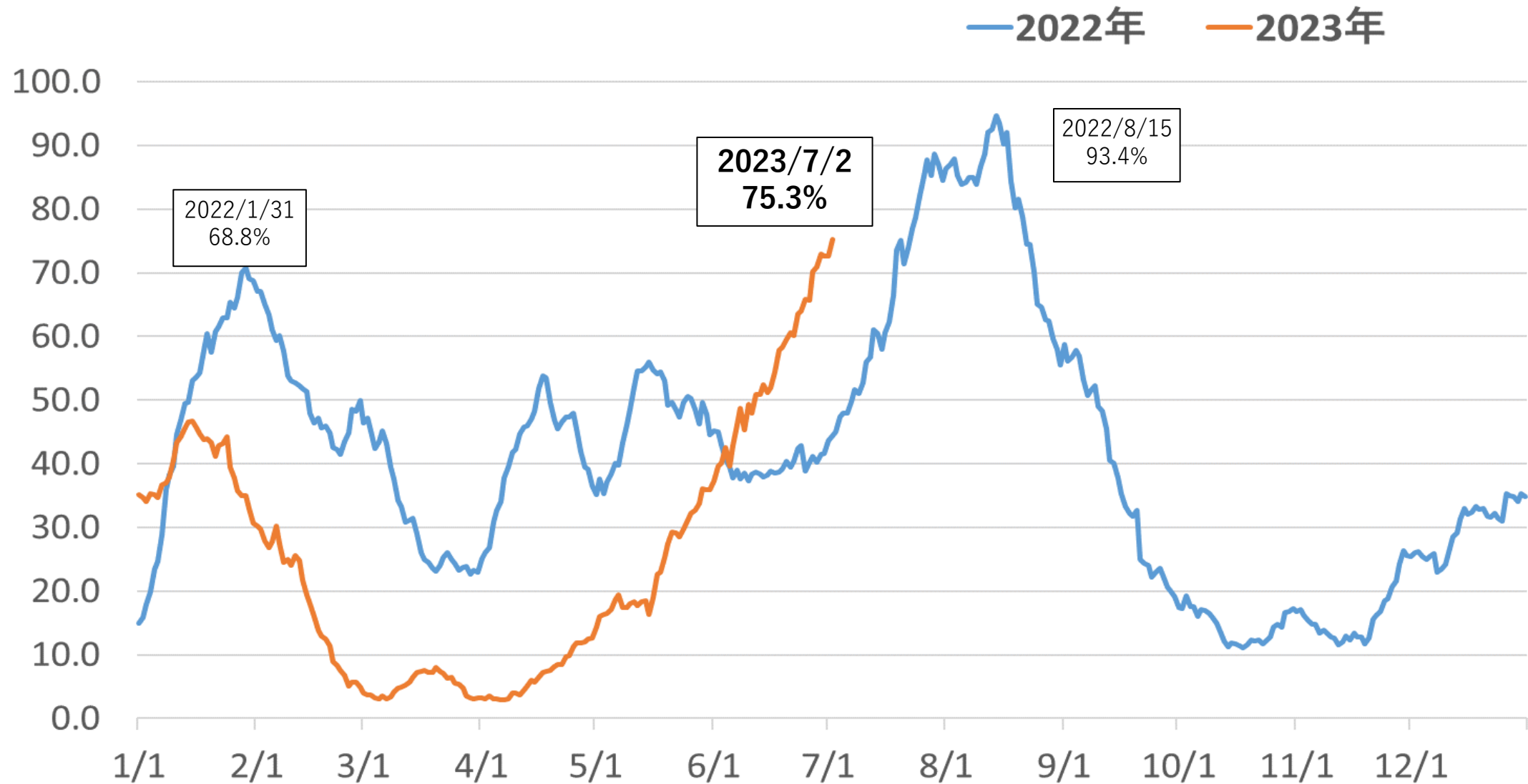
(1) 沖縄県の感染状況等について

④ 定点医療機関当たり患者報告数



(1) 沖縄県の感染状況等について

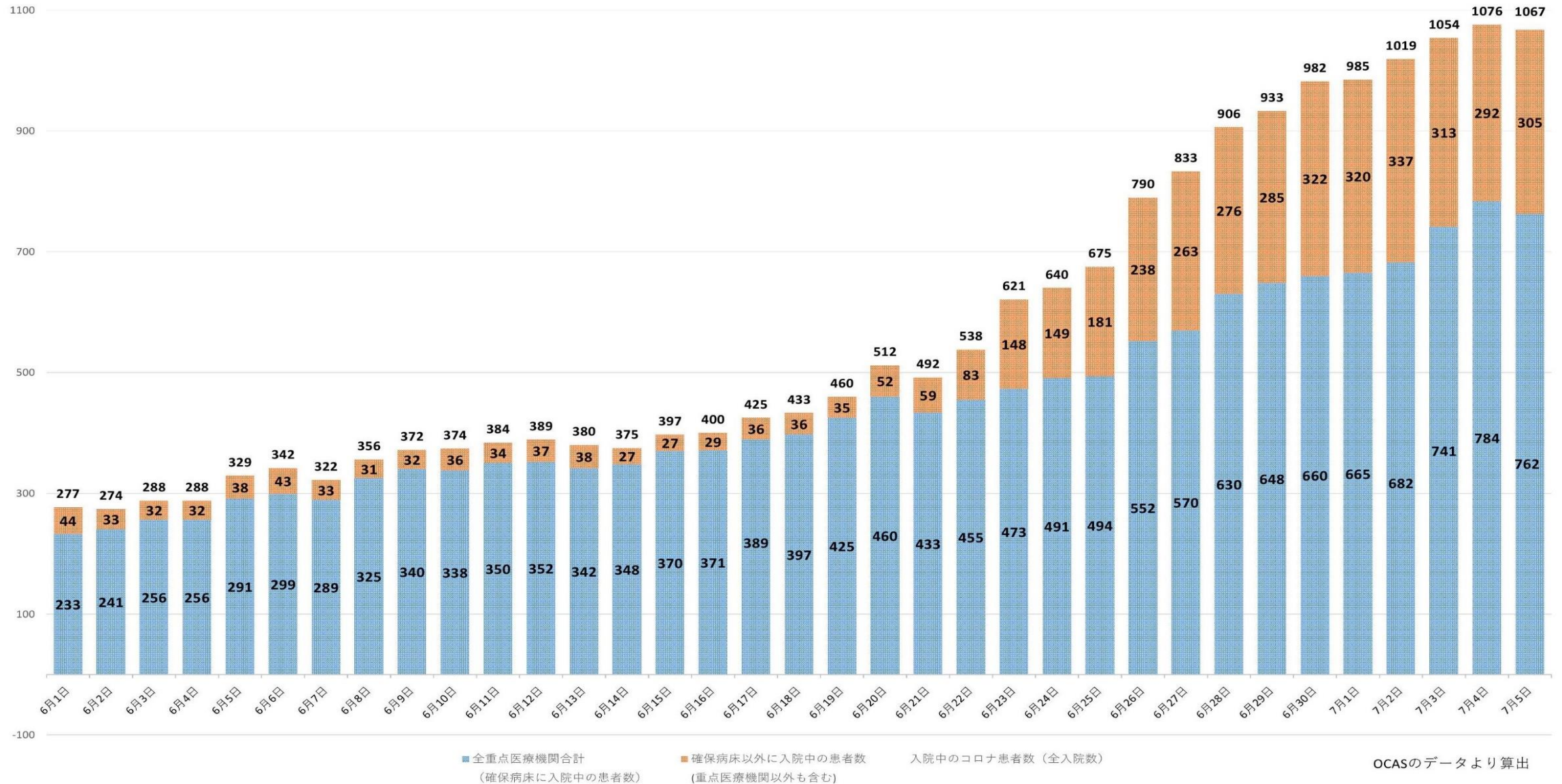
⑤確保病床使用率の推移 (2022.1.1~)



出典：沖縄県警戒レベル判断指標 (令和5年5月7日時点)

(1) 沖縄県の感染状況等について

⑥ 新型コロナ入院者数の推移 (2023.6.1~)



(2) 沖縄県の取組等について

1 県民への呼びかけ

5月29日（月） 第20週（5/15～5/21） 定点当たり10.80人

第1回新型インフルエンザ等対策会議を開催。**知事**から感染対策を呼びかけ

6月22日（木） 第24週（6/12～6/18） 定点当たり28.74人

保健医療部長から感染対策、ワクチン接種、救急医療を守るための呼びかけ

6月26日（月）

知事から「新型コロナ感染者ケアステーション」稼働発表と併せて感染対策、ワクチン接種、救急医療を守るための呼びかけ

7月5日（水） 第25週(6/19～6/25) 定点当たり39.48人

第2回新型インフルエンザ等対策会議開催。**知事コメント発出（副知事代読）**

感染対策、ワクチン接種、救急医療を守るための呼びかけ

感染拡大を防ぐためのお願い

発熱などの体調不良時は

できるだけ外出を控え、学校や仕事を休むことも検討してください。



基本的な感染対策を

手洗いや換気など、これまで身につけた基本的な感染対策の継続をお願いします。



推奨される場面でのマスク着用

高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関や高齢者施設等を訪れる際や、混雑したバスやモノレールに乗車する際はマスク着用を含め、事業者が求める感染対策へご協力をお願いします。



救急医療を守るためのお願い

軽症の方は 救急受診を控えてください

- 軽症の場合や、検査・診断書目的での救急病院の受診は控えていただくなど、**適正な救急受診**にご協力をお願いします。
- 事業者の皆さまにおかれましては、自宅療養に際して診断書目的の受診を求めることはお控えいただき、検査キットの撮影画像により確認いただくなどの対応をお願いします。



事前の準備を

発熱した場合などに備え、各家庭で日持ちする食料と抗原検査キット、解熱剤等の医薬品を準備しましょう。



受診医療機関に迷う場合は 発熱コールセンターにご相談ください

- **発熱コールセンター**
☎ 098-866-2129 (24時間対応)
- **小児救急電話相談** ☎ # 8000
平日夜間 (PM8時～AM 7時)、
土日祝日(24時間)

積極的なワクチン接種をお願いします

- 県内で流行しているXBB系統株は**免疫逃避能力**が高く、**再感染しやすい**特徴があります
- 重症化予防等の観点から、早期の接種をご検討ください



令和5年春開始接種について

令和5年春開始接種では重症化リスクが高い方（高齢者、基礎疾患を有する方）にワクチンを接種いただきます。

詳しくは厚生労働省ホームページをご確認ください →



(2) 沖縄県の取組等について

2 「新型コロナウイルス感染者ケアステーション」の開始

- ・ 令和5年6月26日（月）から当面の間、稼働
- ・ 原則、65歳以上の高齢者または基礎疾患を有する方で中等症Ⅱまでの患者に対し、酸素投与、輸液等の医療的ケアを実施
- ・ 医療機関の入院負荷を軽減し、病床確保につなげることを目的とする。

3 医療コーディネーターの再招集

- ・ 感染拡大への県の対応や施策について、専門的な視点から助言をいただくため、医療コーディネーターを再招集

4 抗原検査キット配布

- ・ 病院の医療従事者に対して、県より配布した抗原検査キットを活用し、週2～5回程度の集中的検査を実施

(2) 沖縄県の取組等について

5 酸素濃縮器貸出の開始

- 令和5年7月7日（金）から同年9月30日（土）
- 医師の指示の下、自宅や施設等で使用する酸素濃縮器を貸し出しする。
- 酸素需要がある患者についても自宅や施設等で療養できる体制を整備する。

6 看護師派遣事業

- 地域の医療提供体制を維持するため、看護師派遣コーディネーターを設置し、看護師派遣の支援を行う。
- 県内病院からの看護師派遣依頼に対し、当該病院の医療体制等を調査し、必要に応じて、感染対策の助言を行うとともに、派遣の要否及び業務応援の人数、日数等を決定する。

「新型コロナ感染者ケアステーション（なはステ）」について (施設概要)

項目	内容
目的	医療機関の入院負担を軽減することにより、病床確保につなげる。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関からの入所調整に対応する。 ・本施設は医療施設には当たらない。 ・重点医療機関等の救急からの入所・入院患者の退院後の入所。 ・診療所での診察で病院受診や入院調整が必要と判断されたが、受入先の確保が困難であるものを想定。
場所	那覇市（現：高齢者専用宿泊療養施設（なはステ）に同じ） ※非公表
対象者	原則として、65歳以上高齢者または基礎疾患を有する方で中等症Ⅱまでの患者 ・発症から5日以内。ただし症状継続時は医師の判断により5日を超えて入所可。
受入数	25名 ※感染状況に応じて増員
人員体制	医師（常時1人）、看護師（常時4人～）、看護補助者（常時2人～）、理学療法士等（日勤帯：1～2名）※高齢者専用宿泊療養施設（なはステ）の入所者への対応との兼務
実施するケア	健康観察、介助（食事、清拭、排泄等） ※医療的ケア可能（酸素投与、輸液、痰吸引等） ※抗ウイルス剤の処方不可。
搬送	家族送迎、介護タクシー等、病院車、県車
設備	1棟に25名のベッド配置（個室なし） テレビなし・冷蔵庫なし、シャワーなし
受入時間	24時間常時受け入れ
自己負担	食費（1食につき500円）



※入院調整を行った場合の診療報酬950点は対象外です。

※なはステ医師により入所が必要ないと判断した場合は、入所をお断りする場合があります。その場合は引き続きご対応をお願いします。

(3) 現状の課題及び対策について

	①救急	②外来	③入院調整	④院内感染	⑤施設支援
影響	<ul style="list-style-type: none"> 必要な医療が提供できず（非コロナ） 		<ul style="list-style-type: none"> 必要な医療が提供できず（コロナ） 	<ul style="list-style-type: none"> 一般医療縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク者の重症化
課題	<ul style="list-style-type: none"> 一部集中 診療制限 	<ul style="list-style-type: none"> 大混雑 予約不可 	<ul style="list-style-type: none"> 一部に集中 救急車たらい回し 	<ul style="list-style-type: none"> 頻発 スタッフ休業者増 	<ul style="list-style-type: none"> 把握困難
要因	<ul style="list-style-type: none"> 軽症・検査目的 非コロナ救急増加 	<ul style="list-style-type: none"> 外来対応医療機関 指定率46.3% (R5.6.14時点) 	<ul style="list-style-type: none"> 病状に応じた役割 分担ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> 社会活動の再開 待機期間の対応 バラバラ 	<ul style="list-style-type: none"> プッシュ型支援終了
対策	<ul style="list-style-type: none"> 診断書求めない通知 	<ul style="list-style-type: none"> 診断書求めない通知 コールセンター充実 	<ul style="list-style-type: none"> ケアステーション開設 役割分担表（地域ごと） 	<ul style="list-style-type: none"> 抗原検査キット配布 対応統一 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口設置 検査支援